



脳神経内科  
走金秀爾

地域の専門病院として、脳神経外科と連携した外科的治療や、難治例のセカンドオピニオン対応も行なっている同院。最後に走金医師は、「パーキンソン病は進行性ではあるものの、適切な薬物調整、リハビリなどによりQOLを保つことが可能です。気になる症状があれば早めに専門の医師に相談し、診断と生活支援の計画を立てることをお勧めします」とパーキンソン病への備えの大切さを強調した。

お問い合わせ 岡山旭東病院  
086-276-3231

近年、パーキンソン病は高齢化とともに患者数が増加しており、日本国内でも有病者の数は数十万規模にのぼると推計されている。厚生労働省の患者調査では、二〇一二三年前後で約二五万人という推計値が示されており(\*1)、その発症は六〇歳以降から増え、年齢が上がるほど有病率が増加する傾向がある(\*2)。

岡山旭東病院で日々パーキンソン病治療にあたる走金医師は、その症状をこう説明する。「パーキンソン病の症状は運動症状と非運動症状に分けられます。ふえ、こわばり、運動緩慢（動作の遅さ）に加え、姿勢反射障害や歩行障害が進行期に現れます。いっぽうで、便秘、嗅覚障害、

睡眠障害、うつや認知機能低下といった非運動症状も早期から見られ、生活の質（QOL）に大きな影響を与えます」。

パーキンソン病の診断は体の状態を確認するのが基本で、神経学的診察によりパーキンソン症候群の特徴を確認。補助的検査としてMRIやSPECT（ドーパミンが働いているかを評価する）、脳波や神経生理検査を行ない、他のパーキンソン症候群（多系統萎縮症、進行性核上性麻痺など）との鑑別を進める。治療においては、根治療法がないため、薬やMAO・B阻害薬などの薬物療法が中心となる。デバイス治療としては深部

脳刺激療法（DBS）などがあり、運動症状や栄養・摂食嚥下対策も不可欠とされている。

脳刺激療法（DBS）などがあり、運動症状や栄養・摂食嚥下対策も不可欠とされている。

## 薬物療法・プラス適切なリハビリなどチーム医療でQOLを維持。

同院の特徴について、走金医師は、「当院は急性期から慢性期まで幅広い神経疾患に対応する体制を整えているのが特徴です。MRIをはじめSPECTや脳波、神経超音波など診断機器も充実しています。また、薬物治療だけでなくリハビリスタッフ・摂食嚥下チーム・訪問看護と連携することで、患者さんやご家族のQOLを重視した包括的ケアを提供できるよう努めています」と話す。

\*1 厚生労働省 令和5年患者調査 傷病分類編（傷病別年次推移表） \*2 パーキンソン病診療ガイドライン2018

## NEWS

### パーキンソン病健康教室

共催:全国パーキンソン病友の会岡山県支部  
エフピー株式会社・岡山旭東病院

参加無料

お申し込みはお電話か  
オンラインフォームから

086-276-3231  
担当:企画広報室

オンライン  
フォーム▶



### イベントのご案内

当院では、健康教室や園芸教室、コンサート、展示会など、どなたでもご参加いただけるイベントを開催しています。ぜひお気軽にご参加ください。



岡山旭東病院  
イベント情報▶

2026年3月28日（土）14:00～16:00（開場13:30～）／岡山コンベンションセンター3階 コンベンションホール

総合司会:岡山脳神経内科クリニック 院長 柏原健一先生

講演1 「パーキンソン病との付き合い方」 高橋哲也先生（株式会社エムネス 医療事業企画室 脳神経内科医師）

講演2 「声から元気を取り戻そう！～パーキンソン病と発声のコツ～」 大森雄仁先生 岡山旭東病院 言語聴覚士

No.139

2026

1-2月号

850円  
(本体773円)

おとな、暮らし、ときどきプレミアム

# オセラ

中四国・  
兵庫の温泉へ

俵山温泉  
有福温泉  
松江しんじ湖温泉  
玉造温泉  
有馬温泉  
道後温泉

— 心までゆるりと浸かる —

## 大人の温泉旅

まち・みち案内

岡山県 倉敷美観地区

大人のためのご馳走。

薪ストーブのある暮らし

とておきを探しに。／Doctor's Eye